



『生きるヒント—自分の人生を愛するための12章—』  
五木寛之 (講求番号 914.6-I-1)

これは私が17歳の誕生日に、  
クラスメイトから贈られた本です。  
いわゆる「人生論」のような堅苦しいことは  
書いてありません。あくまで生きていく「ヒント」です。  
読んだ後、自分の何気ない感情や行動に注目するようになっ  
たり、『泣いたり戸惑っていいんだ』と思える、  
そんな本です。

K.T.

日本史 クリスマン人物伝 70  
『あっぱれ 天晴れ! ふれずのたの人たち』  
熊田知子 著

この本には70人の日本人クリスマンが  
紹介されています。何と! 克島の創始者。  
河井道先生も載っています。是非  
読んでみて下さい。

S.M.

読書案内 冬号  
4~6年生向

2016.12.8 ×ディアセンター発行

787-18  
デザインの授業 佐藤好彦 著

映画、アルバムジャケット、絵巻物、建築、ポスター、  
浮世絵、雑誌など、幅広いジャンルの作品を  
題材に、デザインの意図を読み解いていきます。  
すぐれたデザインの中、時代や分野や  
地域をこえた共通点が見えてくるヒントが  
おもしろい。

M.T.

冬の鷹 吉村昭 著 講求番号: 918.6-SH61-66

鷹の鷹は歴史小説です。解作新書という書物  
の名を日本史の授業で習った江戸時代に  
オランダから入ってきたこの医学者を審問した  
前野良沢がこの小説の主人公です。鎖国時代  
にオランダ語に強い関心を持った彼が、まだオランダ  
も存在しないこの外国語に手こずり立ち向かい、  
苦勞する様子、その人生、そして周囲の人間の  
様々な生き方が描かれています。  
歴史、外国語を日々学んでいる皆さん、  
ぜひ一読ください。

M.T.

『苦海浄土』石牟礼道子

この本のテーマは水俣病です。初読はバブルと呼ばれた  
時代の直前、日本が湾の汚染がめだつた頃でした。  
高度経済成長を経て物質的に豊かになった  
陸地と海が互いの犠牲を払わねばならぬ...  
ありため人間の愚かさを知らせられ、同時に  
困難を多し入れ開く人間の偉大さも教えて  
くれます。水俣病 公害 石牟礼道子  
60年の今、ぜひ読んでほしいです。

R.F.

『100年前の女の子』船曳由美 著 2011 F

明治42年(1909)に生まれた寺崎テイとい  
う女の子の物語です。群馬と栃木の県境  
高松村という農村で育ったテイの日常生活が  
季節ごとの行事と共に描かれ、とても読みやすく  
面白いです。著者はテイの娘で、これはお母さん  
実話。そしてなんと、ほんのちよとだけ 河井先生  
登場します!! 農業・民俗学・歴史に興味のある方は是非一読

Y.M.

現在6巻まで本が出ています。  
(ポスター・ブックレット・映画化予定)

『テラア戦記』 気高き王家の翼とオミニゾウ

「ファンタジー、ハリポタ以外読まない」という人もいると  
思いますが、断言します。もっといいです!! 『ゲド戦記』  
『獣の奏者』のように完全なるファンタジーも魅力がたつた  
ハリポタのように「現実」に「ファンタジー」がまじりこんでいる  
作品にも、思わぬのめりこんでしまうものがたくさんあります。  
その一つが今、『テラア戦記』シリーズ。飛行機誕生前に  
ドラゴンと輸送・戦闘手段とする空軍が本当に  
存在しようとする物語運びもさながら、  
テラアとその思いのローレンスのセリモノも楽しい!

S.Y.

舟を編む 三浦しん

新しい辞書『大渡海』の完成に向けて動  
き出している辞書編集部を舞台に、個性豊かな  
ちやんと不器用な人々が繰り広げるヒューマンドラマです。  
仕事や、何か物事に取り組むべく姿勢、向き合い方  
なども考えさせられる気がします。くぐぐぐと読め  
ちゃう本屋大賞受賞作。面白くておすすめですよ!

マジメ、面白い!!

913.6 M M.S.